

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	桧木内地区中山間地域総合整備事業費					
担 当 課 係 名	農 林 課		農 村 整 備 係		作成者	浅利和嗣
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	特色ある資源を活かした産業創造のまち				総合計画の ページ
	基本計画	特色ある農業の振興				
	主要施策	農業基盤の整備				63
予 算 費 目	一般 会計	6 款 農林水産業費	1 項 農業費	5 目 農地費		
事 業 期 間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度			新規 / 継続の区分		継続
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☒ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☒ 補助金 ☐ 内部管理					
根 拠 法 令 等	土地改良法、仙北市市営土地改良事業施行に関する条例。					
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☐ 直 営 ☒ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	仙北市西木町の桧木内・上桧木内地区を対象とする。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	良好な営農条件と住み良い生活環境の確保。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	農業用排水路の整備・農道整備・集落道整備・集落排水路整備・防火水槽の整備。

【事務事業の推移】

(単位：千円)

	項 目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績	
効果	活動指標	水路延長	m	1,291	2,101		
		農道延長	m	200	56		
	成果指標	水路延長	%	37	73		
		農道延長	%	13	16		
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額	
	事業費（人件費を除く）(A)		429,250	95,950	101,000		
	財源内訳	国 庫 支 出 金	235,875	52,725	55,500		
		県 支 出 金	79,433	18,804	18,862		
		地 方 債	30,900	4,000	8,400		
		そ の 他	10,207	1,635	2,136		
		一 般 財 源	72,835	18,786	16,102		
		人 件 費 (B)		—	7,853	8,071	
	職 員 数		—	1.00	1.00		
	職 員 平 均 人 件 費		—	7,853	8,071		
	(A) + (B) 投下コスト		—	103,803	109,071		
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト (円)		—	80,405	51,914	
				—	519,015	1,947,696	
市民1人当たりのコスト(円)		—	3,255	3,474			

【事務事業の今までの成果】

平成17年事業採択、平成17年から平成21年までの5ヶ年間の計画期間である。平成19年度に計画変更を行い、当初計画より事業量及び事業費を減とした。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	本事業が平成21年で完了することから、市民の要望等を取りまとめ検討しこれに代わる新規事業獲得を図りたい。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	事業内容については説明会を開催し、受益者の要望を反映させているため特に苦情はない。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
A	A	現状のまま継続（実施）	本事業は国庫補助事業であり、計画期間の最終年度は平成21年度である。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

平成21年度が5ヶ年計画の最終年度になることから、未工事の路線については、さらに受益者との意思疎通を図り、工法の検討また維持管理費の軽減につながる設計施工を目指したい。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	農業生産基盤整備と共に農村生活環境基盤整備を実施し、農業経営の安定と活力ある地域社会の形成できるよう効率的な事業の推進が引き続き必要と考える。

一次評価診断図

